

令和7年度 施策評価シート

基本目標	I 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政 策	110 伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる
施策の目標	すみだの歴史や文化に区民がふれることで、郷土に対する理解・愛着が深まり、さらに区民が将来にわたり本区の特色ある伝統文化を継承、発展させ、文化財が大切に保護されています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	77%
実績	71.6%	—	—	—	73.7%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	80%
実績	—	—	—	—	

指標名	「墨田区の歴史や文化を学んでいる」区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	39%
実績	24.1%	—	—	—	26.4%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	50%
実績	—	—	—	—	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
墨田区の歴史や伝統文化を将来にわたり継承、発展させるため、今後も資料の収集・保存、展示、調査研究等の活動を積極的に展開していく必要があるが、区民、観光客を含む多くの人にそれらの魅力をいかに発信し本区の歴史や文化を身近に感じてもらうかが課題といえる。	R4	1,113,522
	R5	933,760
	R6	892,798

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	所有する文化財等を活用し、墨田の歴史・文化を区民に発信していくという点で一定の成果は得られている。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
○	（１） 優先的に資源投入を図る
●	（２） 現状維持とする
○	（３） 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	（４） 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
文化財の保護や保存、普及、活用に区が取り組むべき必要性は高く、これまでも調査研究の成果を展示や講座等の開催など様々な取り組みを行うことで、一定の成果を上げることができた。	
今後の具体的な方針	
区民が、すみだの歴史や文化にふれる機会を増やすことで郷土に対する理解や愛着が深まり、将来にわたり伝統文化を継承、発展させる。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	北斎ふるさと納税寄付キャンペーン経費	文化芸術振興課	480,916	9,154	490,070	現状維持
2	すみだ北斎美術館管理運営費	文化芸術振興課	209,302	4,577	213,879	現状維持
3	大江戸すみだ職人展開催経費	文化芸術振興課	2,199	2,746	4,945	現状維持
4	旧安田庭園再整備事業費	公園課	5,082	9,154	14,236	現状維持
5	文化財(埋蔵文化財含む)調査、普及、啓発事業	地域教育支援課	57,641	18,578	76,219	現状維持
6	すみだ郷土文化資料館事業	すみだ郷土文化資料館	38,792	14,826	53,618	現状維持
7	すみだ郷土文化資料館管理運営	すみだ郷土文化資料館	20,667	10,114	30,781	現状維持
8	立花大正民家園維持管理費	すみだ郷土文化資料館	6,258	2,791	9,049	現状維持

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	北斎ふるさと納税寄付キャンペーン経費					
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	4514			
目 的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、寄付キャンペーンを実施し、すみだと北斎のPR及び関連事業の充実を図る。					
対 象 者	北斎及びすみだ北斎美術館へ関心がある層、本区へのふるさと納税による寄付を検討している方					
根拠法令 関連計画	墨田区北斎基金条例、墨田区北斎基金寄付金取扱要綱、墨田区文化観光基金条例、墨田区文化観光基金条例施行規則、墨田区文化観光基金寄付金取扱要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤職員3・株式会社トラストバンク外	
事業内容	すみだ北斎美術館の管理運営費、資料収集、北斎をテーマとしたアートプロジェクト経費及びすみだトリフォニーホールの大規模修繕などの音楽事業等の文化芸術関連事業へ充てることを目的に、寄付キャンペーンを実施している。ふるさと納税制度を活用して寄付を募集しており、地場産品や本区への観光誘致につながる返礼品を寄付者に送付している。					
経 過	開始年度	平成27年度			終了予定	
	平成27年度	インターネットによる寄付募集（北斎ふるさと納税）開始				
	平成28年度	目標寄付金額（5億円）の達成				
	平成29年度	墨田区文化観光基金への寄付受入開始				
	令和元年度	複数のふるさと納税サイトでの寄付募集開始（ふるさとチョイス、ふるなび、楽天、さとふる）				
	令和2年度	ふるさと納税受付サイトを追加（セゾンのふるさと納税、ふるさとプレミアム、auPAYふるさと納税）				
	令和5年度	寄付金の使途拡充				
	令和6年度	ふるさと納税受付サイトを追加（JRE MALLふるさと納税）				
議会質問 の 状 況	■令和6年10月 決算特別委員会 （質問）「もの」だけでなく「こと」でもお返しができるのではないか。 （答弁）コト消費の返礼品についてはお食事券など60件程度掲載されているが、引き続き開拓に努力をしていきたい。 （質問）隅田川花火大会においてふるさと納税返礼品の座席は設けられないか。 （答弁）安全対策を最優先に考え、活用場所を検討するとともに、実施条件を関係機関と協議していく。					
そ の 他 特記事項	令和7年度寄付目標額：3億円					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		319,890	462,612	503,532	504,801	493,754	150,000
A. 決算額（令和7年度は見込み）		300,965	399,876	449,531	489,789	480,916	150,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	1	1	1	1
一般財源		300,964	399,875	449,530	489,788	480,915	149,999
執行率（％）		94.08％	86.44％	89.28％	97.03％	97.4％	100％
B. 人コスト		8,822	8,796	8,179	8,512	9,154	
総事業費（A+B）		309,787	408,672	457,710	498,301	490,070	
予算書P（令和7年度）		P117 1-4(2), P118 1-5(2)		執行実績報告書P（令和6年度）		P55, 56	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	474,025	委託料	466,453	委託料	141,622
役務費	15,764	役務費	14,463	役務費	8,033
概 要		概 要		概 要	
ふるさと納税業務委託料及び決済手数料		ふるさと納税業務委託料及び決済手数料		ふるさと納税業務委託料及び決済手数料	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	北斎ふるさと納税への寄付金額				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		145,000	令和7年度	目標	150,000	145,000	200,000	180,000
				実績	232,102	267,902	155,836	379,921
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	250,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
		実績	666,577	900,254	973,521	1,057,821	1,006,016	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		文化芸術関連事業等の充実を図るには、継続して寄付を募る必要があるため。目標値については、これまでの実績と管理運営費や資料収集等に要する費用見込みを基に設定。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	北斎ふるさと納税への寄付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3,000	令和7年度	目標	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績	3,752	4,222	2,544	5,409
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	8,165	10,985	11,834	12,609	11,779	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		文化芸術関連事業等を推進していく上では、墨田区内外からの継続した支援（寄付）が必要であることから、目標値については、寄付件数を支援者数と考えて設定。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和6年度は、寄付目標額を上回り、約10億600万円の寄付を集めることができた。引き続き、北斎美術館の管理運営、資料収集、音楽事業等の文化芸術関連事業等の充実を図るため寄付募集を実施する。

課題・問題点
「コト消費」をはじめ、魅力ある返礼品開拓を継続していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	すみだ北斎美術館管理運営費					
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）				4515
目 的	平成28年11月に開館したすみだ北斎美術館の適切な管理運営に努め、PR事業を始め、資料収集、すみだと北斎のPR及び関連事業の充実を図る。					
対 象 者	区民及び本区への来街者、北斎に関心のある層					
根拠法令 関連計画	すみだ北斎美術館の管理運営に関する条例及び同施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤職員3・墨田区文化振興財団・丹青社共同企業体	
事業内容	本区で生まれた世界的絵師・葛飾北斎を区民の誇りとして顕彰する「すみだ北斎美術館」の管理運営を行い、区民が文化・芸術にふれる機会を創出するとともに、文化・産業・観光等の地域活性化の拠点として展開する。					
経 過	開始年度	平成28年度			終了予定	
	平成27年度	指定管理者決定				
	平成28年度	建築竣工、11月22日開館				
	平成29年度	開館1年目の目標来館者数20万人達成（4月）				
	平成30年度	来館者数50万人達成（7月）				
	令和元年度	来館者数75万人達成（1月）				
	令和3年度	来館者数85万人達成、開館5周年（11月）				
	令和4年度	来館者数90万人達成（7月）				
	令和5年度	来館者数100万人達成（6月）				
	令和6年度	来館者数130万人達成（3月）				
議会質問 の 状 況	令和7年3月 地域産業都市委員会 （質問）北斎美術館において一番重要なのは訴求力ある作品がそろっていないといけないと思います。高額のもの墨田区の北斎美術館には来ないで安い資料ばかりが来てしまうということになるのは非常に残念だなと思いますので、その辺の戦略を是非考えていただきたいと思います。 （答弁）すみだ北斎美術館の魅力ある展示若しくは研究も大きな一つのテーマになっておりますので、その方向に資するような資料の購入を、今後も検討していきたいと思っております。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		247,563	241,365	254,914	264,942	221,376	191,457
A. 決算額（令和7年度は見込み）		212,841	232,573	248,673	264,678	209,302	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	95,437	94,949	154,184	164,218	120,612	91,810
一般財源		117,404	137,624	94,489	100,460	88,690	99,647
執行率（％）		85.97％	96.36％	97.55％	99.9％	94.55％	-％
B. 人コスト		4,411	4,398	4,090	4,256	4,577	
総事業費（A+B）		217,252	236,971	252,763	268,934	213,879	
予算書P（令和7年度）		P121 6-1		執行実績報告書P（令和6年度）		P59	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	242,933	委託料	190,732	委託料	191,457
備品購入費	21,299	備品購入費	29,881		
報償費	156	報償費	304		
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	メディアへの掲載数（国内の映像・ラジオ・新聞）				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		60	令和7年度	目標	60	60	60	60
				実績	73	102	78	93
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	60	60	60	60	60	60
		実績	107	108	75	114	69	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		北斎美術館のメディア掲載数で、宣伝・広報の成果を図る指標となるため。目標値については、来館者数が安定していく中でも、高い注目度を集めるべく本数値に設定した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	すみだ北斎美術館への来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		180,000	令和7年度	目標	80,000	321,000	220,450	171,000
				実績	177,707	262,634	177,188	157,034
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	172,000	180,000	98,000	98,000	180,000	180,000
		実績	45,070	56,978	90,466	159,112	185,379	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民をはじめ、区外及び海外からの来訪者が、どれだけ北斎の魅力を体感したかを図る指標となるため。目標値については、今後も安定して来館者数を確保するべく本数値を設定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	インバウンドの好調に伴い、来館者数は目標を上回り、またメディアでの掲載数も目標を上回っており、高い注目を集めている。引き続き、魅力ある事業展開と施設の適切な管理運営に努めていく。

課題・問題点
さらなる入館者数増加を目指し、広報や企画展の充実を図るとともに、安定した館の運営を行っていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	大江戸すみだ職人展開催経費					
主管課	文化芸術振興課				電話番号（内線）	5457
目 的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、作品の付加価値を高めていくことに寄与することを目的として展示会を開催する。					
対 象 者	区民、区への来訪者					
根拠法令 関連計画	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤職員3人	
事業内容	大江戸すみだ職人展実行委員会と区が共催のもと、実施会場である北斎美術館講座室MARUGEN100（講座室）及び区立緑町公園における職人の実演・伝統工芸品の展示のほか、訪れた方の興味を高め理解を深めてもらうため、職人や工芸品・制作品を紹介するパネルの展示、工芸体験を実施している。 産業振興課、地域教育支援課にて「伝統工芸保存会」、「パルティール」等への支援事業が行われているため、本事業については、平成30年度から実施場所を北斎美術館に変更したうえでプロモーションを工夫し、リピーターや愛好家、外国人旅行者も含め、より多くの人に職人の技や作品を目にしてもらい、関心を持ち評価してもらう事業内容とした。					
経 過	開始年度	平成20年度			終了予定	
	本事業は、伝統工芸保存・振興事業「すみだ匠の競演」の拡充事業として、平成20年に観光課所管の「ぶらり両国まちかど展」とのタイアップ事業としてリニューアルし、江戸東京博物館にて、第一回目となる大江戸すみだ職人展を開催した。なお、従来の伝統工芸保存・振興事業としては、「すみだ匠の競演」と教育委員会生涯学習課所管の「伝統工芸展」があり、「すみだリバーサイドホール」において交互に開催していた。 開催場所については、平成20年～21年は江戸東京博物館、平成22年～23年はリバーサイドホール、平成24年～29年はすみだまち処、そして平成30年～令和3年は、外国人旅行者も含めさらに多くの方に知っていただくよう北斎美術館MARUGEN100（講座室）としている。（令和2年度は中止）					
議会質問 の 状 況	【令和6年決算特別委員会（10月）】 ・大江戸すみだ職人展の内容について教えてほしい。 （答弁）職人たちの技の実演や直接指導を受けながらの工芸体験等、本物の職人技を体験していただく事業である。令和6年度は9月20日から23日に開催し、22人の出展、1,235人のお客様にご来場いただいた。 ・日本語以外の説明、告知、広報について、一層取り組んで欲しい。 （答弁）墨田区観光協会と連携し英語対応の可能なガイドの配置や英語版チラシの拡充、SNSはじめ宿泊施設等へのチラシ配架等を検討のうえ情報発信していく。					
そ の 他 特記事項	令和6年度は、平成30年度に作成した職人紹介パネルの更新並びに新規作成により、職人情報の紹介や職人展の空間装飾を実施した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	450	950	1,150	2,260	1,500
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	450	940	1,150	2,199	1,500
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	450	940	1,150	2,199	1,500
執行率（％）		－％	100％	98.95％	100％	97.3％	100％
B. 人コスト		2,913	3,518	4,907	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		2,913	3,968	5,847	3,704	4,945	
予算書P（令和7年度）		P118-6		執行実績報告書P（令和6年度）		P56	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	1,150	負担金補助及び交付金	2,199	負担金補助及び交付金	1,500
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区町内会へのポスター配布数				単位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,700	令和7年度	目標	30,000	30,000	30,000	1,700
				実績	31,100	31,100	31,100	1,700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
		実績	-	1,710	1,400	1,915	1,888	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		より多くの方に広く告知することが来場者数の増加につながるため。令和元年度から活動指標を「開催告知チラシの配布戸数」から「区内町会へのポスター配布数」に変更した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	展示会場への来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,500	令和7年度	目標	8,000	8,500	8,500	2,000
				実績	8,769	6,440	3,802	2,340
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
		実績	-	874	2,282	1,002	1,235	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		展示会場への来場者数が広くPRできたことを示す指標となるため。平成30年度から開催会場をすみだまち処からすみだ北斎美術館へ変更、令和元年度から目標値についても変更した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	実施場所やプロモーションを工夫したことで、より多くの方に関心を持っていただくことができ、参加した職人も手ごたえを感じている。来場者と職人の距離が近いことがこの事業の大きな強みであるため、今後はその点をより生かした事業展開をしていきたい。

課題・問題点
文化芸術の体験型展示会として、一定のテーマを持たせるなど、実施方法の一層の工夫により、老若男女、区内外を問わずより幅広い方に関心を持っていただくことが課題である。 また、今後は海外からの観光客にも訴求する魅力ある展示を工夫していく必要がある。

令和7年度 補助金評価シート

No. 3

補助金名	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金		
主管課	文化芸術振興課	電話番号（内線）	5457
根拠法令	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱		
補助概要	大江戸すみだ職人展を実施するにあたり必要となるPR経費や設営費への補助		
目的	全国でも有数の「ものづくりのまち」として発展を遂げてきた墨田区において、伝統工芸分野における優れた技術・技能を区内外に広くPRし、市場における作品の付加価値を高めていく。		
対象	区民、区への来訪者		
基準	区独自基準		
補助条件	大江戸すみだ職人展実行委員会補助金交付要綱 第2条 区長は実行委員会が行う次の事業に要する経費を予算の範囲内において補助金として交付する。 （1） 大江戸すみだ職人展に関する運営経費 （2） 前号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業の経費		
経過	開始年度	平成20年度	終了予定
	現在の要綱の適用以前は、「墨田区伝統手工芸作品展示会補助金交付要綱」により、当時の文化振興課と生涯学習課で1年ごとに補助金を支出していた。平成20年度から「大江戸すみだ職人展実行委員会補助金要綱」により補助している。		
議会質問の状況			
その他特記事項	令和6年度は、平成30年度に作成した職人紹介パネルの更新並びに新規の作成により、職人情報の紹介や職人展の空間装飾を実施した。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	450	950	1,150	2,260	1,500
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	450	940	1,150	2,199	1,500
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	450	940	1,150	2,199	1,500
執行率（％）		－％	100％	98.95％	100％	97.3％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	区町内会へのポスター配布数				単 位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,700	令和7年度	目標	30,000	30,000	30,000	1,700
				実績	31,100	31,100	31,100	1,700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
		実績	-	1,710	1,400	1,915	1,888	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		より多くの方に広く告知することが来場者数の増加につながるため。令和元年度から活動指標を「開催告知チラシの配布戸数」から「区内町会へのポスター配布数」に変更した。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	展示会場への来場者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,500	令和7年度	目標	8,000	8,500	8,500	2,000
				実績	8,769	6,440	3,802	2,340
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
		実績	-	874	2,282	1,002	1,235	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		展示会場への来場者数が広くPRできたことを示す指標となるため。平成30年度から開催会場をすみだまち処からすみだ北斎美術館へ変更、令和元年度から目標値についても変更した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	実施場所やプロモーションを工夫したことで、より多くの方に関心を持っていただくことができ、参加した職人も手ごたえを感じている。来場者と職人の距離が近いことがこの事業の大きな強みであるため、今後はその点をより生かした事業展開をしていきたい。

課題・問題点
文化芸術の体験型展示会として、一定のテーマを持たせるなど、実施方法の一層の工夫により、老若男女、区内外を問わずより幅広い方に関心を持っていただくことが課題である。 また、今後は海外からの観光客にも訴求する魅力ある展示を工夫していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	旧安田庭園再整備事業費					
主管課	公園課	電話番号（内線）	5060			
目 的	平成8年度に東京都から文化財（名勝）の指定を受けた旧安田庭園を再整備し、文化財庭園としての価値を高め、歴史・文化資源として守り継承するとともに、『すみだ』の魅力を国内・外に広く発信する。					
対 象 者	すみだの歴史や日本庭園に興味を持つ区民及び来街者 うるおいややすらぎを求めて公園を利用する区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン 旧安田庭園整備保存管理計画、旧安田庭園中期整備計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4	
事業内容	旧安田庭園は、平成8年度に東京都の「名勝」に指定され、都内に僅かに残る潮入り回遊式庭園として両国地区の重要な観光拠点となっている。文化財庭園を継承し、庭園の保護とさらなる活用を図るため、平成17年度に「旧安田庭園整備保存管理計画」を策定し、平成20年度までに短期整備（外周塀の改修、潮入り再現装置の改修等）を完了した。 平成27年度には、社会動向の変化や周辺環境の変化など新たな課題に対応するため「旧安田庭園中期整備計画（平成28年3月）」を策定し、トイレの改築、園路のバリアフリー化、施設のライトアップなどを実施した。 令和2年度には整備計画の見直しを行い、令和3年度から令和7年度までの整備内容を定めた。 整備等には、都補助金「東京都文化財保存事業費」を活用し、実施している。					
経 過	開始年度	平成27年度			終了予定	令和7年度
	計画の策定 [平成17年度] 旧安田庭園整備保存管理計画の策定 [平成27年度] 中期整備計画の策定 [令和2年度] 中期整備計画の見直し 過去3年間の再整備実績 [令和4年度] 改修工事（園路舗装、竹柵改修、植栽整備） [令和5年度] 改修工事（植栽整備） [令和6年度] 改修工事（植栽整備）					
議会質問 の 状 況	[平成30年2月予特] ライトアップに伴う開園時間の延長について [平成31年3月] 西門閉鎖時間の多言語表記について [令和6年2月予特] ナイトタイムエコノミーの観点から開園時間の延長について					
そ の 他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		9,500	7,258	8,608	5,208	5,220	5,220
A. 決算額（令和7年度は見込み）		9,465	6,592	8,354	4,986	5,082	5,220
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	3,214	4,604	4,177	2,492	2,540	2,610
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		6,251	1,988	4,177	2,494	2,542	2,610
執行率（％）		99.63％	90.82％	97.05％	95.74％	97.36％	100％
B. 人コスト		7,058	7,916	6,543	7,661	9,154	
総事業費（A+B）		16,523	14,508	14,897	12,647	14,236	
予算書P（令和7年度）		210		執行実績報告書P（令和6年度）		163	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	4,804	工事請負費	4,917	工事請負費	5,000
報償費	182	報償費	165	報償費	220
概 要		概 要		概 要	
改修工事（植栽整備）等		改修工事（植栽整備）等		改修工事（植栽整備）等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	旧安田庭園中期整備基本計画に基づく整備項目数(累計)				単位	項目
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		16	令和7年度	目標	2	9	12	13
				実績	2	9	12	13
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	13	13	14	15	15	16
		実績	13	13	14	14	14	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		適正かつ円滑な保存管理を段階的に行い、令和7年度までに中期整備計画に基づく整備を終わらせることを目標とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「伝統文化が保護・継承されている」という区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		80	令和7年度	目標	71.6	-	-	-
				実績	71.6	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	77	-	-	-	-	80
		実績	73.7	-	-	-	-	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		文化財庭園としての整備を行った結果が、歴史・文化の保護・継承を感じる区民の割合の増加に繋がる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	計画に基づき、庭園を改修することで、文化財庭園としての価値を高め、区内観光に資することができる。 整備保存管理計画に基づく整備・活用を進め、文化財庭園としての価値を次世代に継承するため、管理手法及び利用促進について検討を行っていく。

課題・問題点
旧安田庭園の魅力を、より多くの人々に知ってもらうため、観光課や他部署が行うイベントや刀剣博物館の企画展示等との連携を図る必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	文化財(埋蔵文化財含む)調査、普及、啓発事業					
主管課	地域教育支援課				電話番号(内線)	5157
目 的	文化財の調査保護を通じて、墨田区の歴史風土・文化への理解・啓発を促す。					
対 象 者	区登録文化財の保護・保存にあたっている方及び区内の歴史や文化財への普及・啓発を図る対象である区民・観光客					
根拠法令 関連計画	文化財保護法、墨田区文化財保護条例及び施行規則、墨田区文化財保護奨励金交付要綱、墨田区埋蔵文化財取扱要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、会計年度任用職員6	
事業内容	地域の文化遺産を地域全体で保存・活用していくため、すみだの歴史や文化に区民がふれる機会を増やし、郷土に対する理解・愛着を深め、郷土愛の醸成や文化の継承を図っている。そのための事業として、文化財の保護と活用及び伝統工芸の保存普及等を行っている。					
経 過	開始年度	昭和52年度			終了予定	
	昭和52年9月1日 墨田区文化財保護調査員設置要綱を設置、区内文化財の全体調査を開始 昭和57年4月1日 墨田区文化財保護条例及び施行規則を設置、区内文化財の登録を開始 昭和58年1月10日 墨田区文化財保護奨励金交付要綱を設置、区登録(指定)文化財所有者への交付を開始 平成11年12月28日 墨田区埋蔵文化財取扱要綱を設置、発掘調査の取扱い等を整備					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	・例年10～11月に東京都主催「東京文化財ウィーク」に参加し、区内史跡めぐりや伝統工芸体験講座を実施している。 ・平成26年度から、すみだ地域資料データベースを開設し、Web公開している。 ・令和2年度からひきふね図書館で区内で出土した埋蔵文化財の常設展示と企画展示を実施している。					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額(令和7年度は当初予算)		38,503	38,547	47,783	51,384	71,039	87,547
A. 決算額(令和7年度は見込み)		33,822	36,175	45,680	48,568	57,641	87,547
財 源	国	4,687	7,222	10,339	9,502	10,073	9,630
	都	1,843	2,908	4,483	4,054	4,011	3,655
	その他	0	0	9	9	17	34
一般財源		27,292	26,045	30,849	35,003	43,540	74,228
執行率(%)		87.84%	93.85%	95.6%	94.52%	81.14%	100%
B. 人コスト		17,789	17,592	16,473	17,864	18,578	
総事業費(A+B)		51,611	53,767	62,153	66,432	76,219	
予算書P(令和7年度)		P236-13		執行実績報告書P(令和6年度)		P199-13	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	24,958	委託料	26,953	委託料	42,065
報酬	15,328	報酬	18,744	報酬	20,073
負担金補助及び交付金	3,295	職員手当等	7,102	使用料及び賃借料	10,899
職員手当等	2,777	需用費	1,687	職員手当等	7,226
需用費	777	負担金補助及び交付金	1,480	負担金補助及び交付金	3,338
概 要		概 要		概 要	
・文化財調査及び試掘調査の業務委託 ・審議会委員及び指導員の報酬 ・文化財保護奨励金、指定文化財補助金 ・職員手当等 ・調査用品等需用費		・文化財調査及び試掘調査の業務委託 ・審議会委員及び指導員の報酬 ・職員手当等 ・調査用品等需用費 ・文化財保護奨励金		・文化財調査、試掘調査、埋蔵文化財保管庫引越の業務委託 ・審議会委員及び指導員の報酬、職員手当等 ・埋蔵文化財保管庫借上 ・文化財保護奨励金、指定文化財補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	史跡説明板設置数				単 位	基
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		132		目標	114	116	118	120
				実績	114	115	115	117
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	123	126	126	128	130	132
		実績	117	118	118	121	122	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		史跡説明板は、区の歴史や文化財を区民に知っていただくために非常に有用である。経年劣化による取替え、英文の追加等、新設以外にも取り組んでいることを踏まえ、目標値とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	区登録文化財数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		166		目標	142	145	148	151
				実績	142	144	147	148
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	154	158	154	158	162	166
		実績	149	150	153	155	157	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	文化財を登録・指定するために、積極的に調査を行い文化財を保護している。調査に時間を要することを踏まえた目標値とした。令和4年度に登録文化財候補や年間登録数を見直した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	文化財登録のための文化財調査及び文化財保護審議会の実施が適切に行われており、文化財の普及のための史跡説明板の設置や、文化財に関する刊行物の発行、史跡めぐり等も行っている。文化財の保護・管理は、文化財保護法により地方公共団体の任務とされており、現状維持で継続する。

課題・問題点
文化財を保護するためには、それを調査し、その価値を認め、文化財登録して保護していく必要があり、効率性を求めることが難しい。その価値を区民に知っていただくことが保護につながるため、史跡説明板や刊行物等で文化財の周知を行っているが、今後も様々な機会を捉え、文化財の普及・啓発を図っていく必要がある。また、発掘調査等は事業者の負担が大きいため、事業者の理解と協力が不可欠である。今後も、事業者に十分な説明を行い理解を求めて円滑に実施していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	すみだ郷土文化資料館事業					
主管課	すみだ郷土文化資料館				電話番号（内線）	5619-7034
目 的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。					
対 象 者	区民ほか、歴史や伝統文化に関心のある方					
根拠法令 関連計画	博物館法、すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用4	
事業内容	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るとともに、広く教育・学術及び文化の発展に資するため、資料の収集・保存及び展示に関する事業などを行う。					
経 過	開始年度	平成10年度			終了予定	
	平成10年4月12日 開館 20年度：開館10周年記念特別展を実施 24年度：東京スカイツリー開業記念年間特別展示を実施 26年度：シリーズ探訪向島をテーマに企画展を実施 26年度：終戦70年平和祈念展示を実施 29年度：区制70年記念展示を実施 30年度：開館20周年記念特別展を実施 令和5年度：開館25周年記念展示を実施					
議会質問 の 状 況	令和3年第4回定例会子ども文教委員会 入館者増へ向けた取組について、関東大震災の展示について 令和4年第1回定例会本会議 出張展示の実施について 令和4年決算特別委員会 資料館に図書館機能を付加することについて 令和5年決算特別委員会 学校連携事業の内容と周知について 令和6年決算特別委員会 終戦80年の企画について、館のプロモーションについて 令和6年予算特別委員会 東京大空襲80年に関する展示について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		31,974	32,285	29,228	36,417	40,855	46,883
A. 決算額（令和7年度は見込み）		27,700	28,616	26,689	32,611	38,792	46,883
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	176	311	360	766	977	2,255
一般財源		27,524	28,305	26,329	31,845	37,815	44,628
執行率（％）		86.63％	88.64％	91.31％	89.55％	94.95％	100％
B. 人コスト		14,115	14,074	13,178	14,179	14,826	
総事業費（A+B）		41,815	42,690	39,867	46,790	53,618	
予算書P（令和7年度）		P239-2		執行実績報告書P（令和6年度）		P202-2	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	16,926	報酬	17,664	報酬	18,072
職員手当等	3,647	職員手当等	7,261	職員手当等	7,263
需用費	3,365	委託料	4,877	需用費	6,338
委託料	3,313	需用費	3,795	委託料	5,965
備品購入費	2,433	備品購入費	2,174	役務費	4,013
概 要		概 要		概 要	
・報酬及び手当（学芸員）14,080千円 ・報酬及び手当（事務）6,493千円 ・資料整備費（図書、資料購入）2,673千円 ・展示関係経費等（パネル作成委託、美術輸送等）8,964千円		・報酬及び手当（学芸員）17,004千円 ・報酬及び手当（事務）7,921千円 ・資料整備費（図書、資料購入）2,385千円 ・展示関係経費等（パネル作成委託、美術輸送等）6,177千円		・終戦80年に伴う企画展等の実施による委託料、役務費、使用料及び賃借料の増 ・企画展図録発行による需用費の増	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	講座・講演会等参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		2,600	令和7年度	目標	2,300	2,300	2,300	2,300
				実績	3,652	3,603	3,674	1,776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,600	1,000	500	2,000	2,300	2,600
		実績	323	286	867	2,075	2,202	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		講座・講演会等参加者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値は例年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。						
事業の成果	目的に対する指標（成果指標）	指標	入館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		17,000	令和7年度	目標	16,000	16,000	16,000	16,000
				実績	13,671	14,155	14,270	11,966
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	17,000	10,000	5,000	14,000	15,000	17,000
		実績	6,365	7,457	3,763	13,763	14,821	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値は当該年度の展示事業等のほか、感染症や修繕による休館期間を踏まえ設定。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の郷土文化を広く知ってもらう事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、本区ならではのテーマによる魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。区にゆかりの深い資料の収集・保存、資料をもとにした魅力ある事業を企画・発信し、他部署等とも連携して多くの人々に理解を深めていただく。

課題・問題点
展示等の事業内容を工夫するとともに、誘客に向けて発信力を強化し、より多くの人々にすみだの歴史や文化に親しみ、理解してもらうことが課題である。また、学校教育との連携を深め、ICT機器の活用など実施方法を工夫し子どもたちの興味・関心を喚起することに加え、関係部署やボランティアとも連携しながら、事業の新展開を図っていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる					
事 業 名	すみだ郷土文化資料館管理運営					
主管課	すみだ郷土文化資料館				電話番号（内線）	5619-7034
目 的	区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図ることで、広く教育、学術及び文化の発展に資する。					
対 象 者	区民ほか、歴史や伝統文化等に関心のある方					
根拠法令 関連計画	すみだ郷土文化資料館条例、同条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1.1・会計年度任用1、委託先：受付、清掃ほか	
事業内容	すみだ郷土文化資料館の維持管理及び施設運営					
経 過	開始年度	平成10年度			終了予定	
	平成10年4月12日 開館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日（土）～5月31日（日）臨時休館 令和3年4月28日（水）～5月31日（月）臨時休館 大規模修繕工事のため、令和4年9月5日（月）～令和5年3月28日（火）臨時休館					
議会質問 の 状 況	令和2年決算特別委員会 施設の老朽化に対する対応について 令和3年決算特別委員会 施設の修繕予定と今後の展望について 令和5年決算特別委員会 大規模修繕工事の内容について					
そ の 他 特記事項	令和4年度 令和4年9月5日（月）～令和5年3月28日（火）臨時休館し 大規模修繕工事（空調設備、電気設備、外壁・屋上等の補修）を実施					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		22,049	21,080	296,883	23,314	22,470	20,290
A. 決算額（令和7年度は見込み）		19,182	19,033	263,131	18,643	20,667	20,290
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	705	706	360	766	977	2,255
一般財源		18,477	18,327	262,771	17,877	19,690	18,035
執行率（％）		87 %	90.29 %	88.63 %	79.96 %	91.98 %	100 %
B. 人コスト		9,704	9,676	9,020	9,503	10,114	
総事業費（A+B）		28,886	28,709	272,151	28,146	30,781	
予算書P（令和7年度）		P239-1		執行実績報告書P（令和6年度）		P202-1	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	9,868	委託料	12,117	委託料	11,503
需用費	3,503	需用費	4,076	需用費	5,070
役務費	2,541	役務費	2,550	役務費	2,808
使用料及び賃借料	1,313	使用料及び賃借料	1,469	使用料及び賃借料	909
工事請負費	975	工事請負費	353		
概 要		概 要		概 要	
・需用費（光熱水費）3,196千円ほか ・役務費（清掃委託）2,310千円ほか ・委託料（受付、設備保守等）9,868千円 ・使用料及び賃借料（機器リース）1,313千円		・需用費（光熱水費）3,843千円ほか ・役務費（清掃委託）2,310千円ほか ・委託料（受付、設備保守等）12,117千円 ・使用料及び賃借料（機器リース）1,469千円		・委託料及び工事請負費は包括管理業務委託に移行したことによる減 ・使用料及び賃借料は機器の再リース化による減	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	講座・講演会等参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		2,600	令和7年度	目標	2,300	2,300	2,300	2,300
				実績	3,652	3,603	3,674	1,776
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,600	1,000	500	2,000	2,300	2,600
		実績	323	286	867	2,075	2,202	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		講座・講演会等参加者数に応じ、墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認できる。目標値は例年実施する催しの回数と参加者数に基づき算出している。						
事業の成果	目的に対する指標（成果指標）	指標	入館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		17,000	令和7年度	目標	16,000	16,000	16,000	16,000
				実績	13,671	14,155	14,270	11,966
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	17,000	10,000	5,000	14,000	15,000	17,000
		実績	6,365	7,457	3,763	13,763	14,821	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		入館者数に応じ、区民の墨田区の歴史、伝統文化に対する関心度を確認することができる。目標値は当該年度の展示等事業のほか、感染症や修繕による休館期間も踏まえ設定。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区の郷土文化を区内外に広く知ってもらふ事業として、区が取り組む必要性は高い。特に、すみだならではのテーマを扱った魅力ある企画展、小中学生への教育普及事業に力を入れ、引き続き実施していく必要がある。受付業務・清掃及び施設設備保守等の施設維持にかかる業務の委託化により、経費削減に努めている。

課題・問題点
令和4年度の大規模修繕工事を終え、懸案であった空調や照明等の電気設備などを更新しエネルギー効率も改善したが、展示ケースの劣化などの課題が残っており、引き続き展示・収蔵環境の改善を図っていく必要がある。博物館として重要な役割である資料の保存・継承と活用の両立のほか、来館者増へ向けて館の魅力向上のため、ハード面の整備を引き続き進めていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	111 郷土の歴史・文化を継承し、発展させる		
事 業 名	立花大正民家園維持管理費		
主管課	すみだ郷土文化資料館	電話番号（内線）	5619-7034
目 的	墨田区立公園（立花大正民家園）内にある旧小山家住宅を、区の指定文化財として保存するとともに、人形展などの事業や建物内居室の有料貸出を通じて活用する。		
対 象 者	区民ほか、歴史や文化財、伝統文化等に関心のある方		
根拠法令 関連計画	墨田区文化財保護条例、都市公園法、墨田区公園条例、同施行規則		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1・会計年度任用1、委託先：シルバー人材センター
事業内容	●墨田区立立花大正民家園の運営及び維持管理 ●立花大正民家園旧小山家住宅に係る使用の承認、取消し及び変更の承認並びに使用料の減額免除及び返還の承認並びに維持管理 ●立花大正民家園旧小山家住宅での展示事業の実施		
経 過	開始年度	平成11年度	終了予定
	平成10年度 建物の寄贈を受ける 平成11年度 文化財登録（平成11年2月）開園（平成11年7月1日） 平成16年度 生涯学習課文化財担当より移管 平成22～23年度 東日本大震災の発生に伴い平成23年3月12日から12月31日まで休園 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日（土）～5月31日（日）及び 令和3年4月27日（火）～5月31日（月）臨時休園 園外周のブロック塀改修工事のため、令和5年11月20日（月）～6年1月19日（金）臨時休園		
議会質問 の 状 況	令和2年予算特別委員会 民家園の利用促進について 令和3年決算特別委員会 民家園の利用促進について		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		5,417	5,965	5,965	6,464	6,819	8,957
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,657	5,511	5,657	6,113	6,258	8,957
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	4	33	24	15	0	35
一般財源		4,653	5,478	5,633	6,098	6,258	8,922
執行率（％）		85.97％	92.39％	94.84％	94.57％	91.77％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,477	2,694	2,791	
総事業費（A+B）		7,304	8,150	8,134	8,807	9,049	
予算書P（令和7年度）		P236-14		執行実績報告書P（令和6年度）		P199-14	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	2,966	委託料	3,415	委託料	3,681
役務費	2,214	役務費	2,463	役務費	2,733
工事請負費	748	工事請負費	203	工事請負費	2,291
需用費	176	需用費	168	需用費	241
使用料及び賃借料	10	使用料及び賃借料	10	使用料及び賃借料	11
概 要		概 要		概 要	
・ 需用費のうち光熱水費 114千円 ・ 役務費（芝刈と除草） 440千円 （樹木剪定） 1,694千円（執行委任） ・ 委託料（管理業務委託）2228千円ほか ・ 工事請負費（床束補修ほか）748千円		・ 需用費のうち光熱水費 124千円 ・ 役務費（芝刈と除草） 462千円 （樹木剪定） 1,864千円（執行委任） ・ 委託料（管理業務委託）2,676千円ほか ・ 工事請負費（戸板補修）139千円ほか		・ 役務費（芝刈と除草） 528千円 （樹木剪定） 1,991千円（執行委任） ・ 委託料の増は管理業務委託の人件費増 ・ 工事請負費の増は屋根及び雨どい補修工事分1,941千円	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	住宅内の特別展示回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和 7 年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	2	2	2	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		施設への関心を高め入園者数を増加させるために有効な展示（雛人形展と五月人形展）回数を指標とした。施設に負荷をかけず文化財として保護していくために実施回数は現状維持が適切である。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	入園者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,000	令和 7 年度	目標	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績	2,088	1,911	1,822	1,429
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	1,521	1,658	1,785	2,047	2,370	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	入園者数に応じ、区の指定文化財である旧小山家住宅に対する関心度を確認できる。令和6年度は、雛人形展の周知を強化したことで目標値を上回り、過去10年で最多となった。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和6年度の入園者数は目標値を達成し過去10年で最多となった。旧小山家住宅は、区の貴重な指定文化財であるため、常に一定の補修を行いながら耐久性・安全性を確保した上での活用方法を検討していく。

課題・問題点
旧小山家住宅内を無料で一般公開する一方、公開による見学者が支障をきたさない条件下で住宅内を有料で貸出している。築100年を超える建物のため、文化財保護審議会委員の助言を受け、劣化・老朽化した箇所を調査し修繕していきながら運営する必要があり、保存と活用の両立を図っていく必要がある。